

●特集 これからの生協産直を考える

～差別化できる商品の調達と供給 次世代育成の視点から～



県内の耕作放棄地拡大、農産物の供給量低下に直面した福井県民生協は、2016年1月に農業法人「ふくいレインボーファーム株式会社」を設立。生産者の立場から農業の振興と事業のネットワーク化に取り組んでいます。

農家の高齢化に伴い、
生協産直も生産者の多くが
世代交代の時期に入っています。
耕作放棄地の拡大や
貿易の自由化など、
国内農業の基盤が揺らぐ中、
あらためて**産直の価値**を見つめ、
持続的な事業と活動のあり方について
考えます。



〈主な連載〉

巻頭インタビュー

●わが生協、かくありたい！

コープ九州事業連合

代表理事 理事長 江藤淳一氏

●宅配連載

全国生協の宅配事業・
宅配センター運営を学ぶ

第12回 ユーコープ

専門部署の立ち上げから8年、「同じ事故を繰り返さない」を合言葉に安全運転行動の定着を図る

●短期連載

人づくりを考える

日本生協連 顧問 浅田克己氏
生協運動のいま、そして未来へ
～変わる経営、変わらぬ理念～

注目 記事！

●店舗連載

これからの店舗事業の
あり方を考える

第24回 みやぎ生協

人づくりを重点課題とした第11次
中計 初年度は都心進出と業態変更
にチャレンジ



仙台駅徒歩圏にオープンした錦町店は建設コストを抑えつつ、レイアウトや照明にこだわりマルシェ風のスタイリッシュな売場を実現した。



生協運営資料

No.300

2018.3

B5判

奇数月 10日発行

定価 870円・年間 5,220円

次号「特集」予告

●子育て層のライフステージや暮らしの変化に対応し
利用定着を目指す(仮)

生協は妊娠・出産をきっかけに利用してもらおうと、子育て支援サービスを提供していますが、サービス終了とともに利用休止になるケースが少なくありません。子育てが一段落し、共働きに戻った後も利用し続けてもらうための取り組みについて考えます。

日本生協連 広報部 出版G Tel 03-5778-8183

購読のお申し込みは、所属生協担当窓口まで